

# アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



茶指導販売課 菊川



## 一番茶の準備をしましょう

2月に入り厳しい寒さが続きますが、今月から一番茶の摘採に向けて少しずつ準備が始まります。茶園の様子を観察し、状況に合わせて管理を行っていきましょう。

### 春整枝について

昨年は例年よりも気温が上昇し、その影響で管内では秋整枝後に再萌芽した茶園が見られました。一番茶摘採時に古葉の混入などを防ぐため、茶園の状況に合わせて管理を行います。

#### 【再整枝（化粧ならし）】

再萌芽が多く見られた茶園で行います。

**時期**…2月下旬～3月上旬頃

**整枝位置**…整枝面を軽くならず程度

#### 【春整枝】

秋整枝を行わなかった茶園で行います。

**時期**…2月下旬～3月上旬

**整枝位置**…三番茶末摘採園では二番茶の摘採

面から4～6cm上の高さ

三番茶摘採園では摘採面を軽くならず程度

### 春肥（1回目）の施用

春肥は主に、一番茶の収量・品質を向上させるため施用します。肥料成分を効率よく吸収できるように、適期施肥を行います。

**施肥量**…年間施肥量に対して窒素50%・リン酸・カリ30%（目安）

**時期**…2月上旬～中旬頃

**使用資材**…5JA共通さかな配合 など

※近年、乗用型管理機の使用などにより管内でも土壌の硬い茶園が増えています。

定期的に施肥後の土壌混和などを行い、土壌の物理性を改善しながら肥料成分を効率よく吸収させましょう。

### 病害虫の防除

2月中下旬

**カンザワハダニ・チャトゲコナジラミ**の防除時期になります。春先にかけて発生数が増加する傾向にありますので、乾燥・気温の上昇など今後の気象状況に注意しつつ、適期防除を行います。